

第11回新鋭評論賞

正賞

俳句認知における切字の役割

庄田ひろみ

が	の	大	組	組	の	が	読	俳	れ	超	で	り	十	1					俳
挙	最	き	み	み	差	備	者	句	が	え	き	の	七	,					句
げ	も	な	役	が	を	わ	側	形	が	る	る	あ	文	序	文				認
ら	重	役	割	が	埋	備	に	式	俳	分	内	る	字	文	文				知
れ	要	割	を	俳	め	わ	よ	に	句	量	容	意	字	字	字				に
る	な	仕	果	句	る	つ	り	は	形	で	は	味	の	言	言				お
。	仕	組	た	を	為	て	多	式	の	あ	、	を	葉	葉	葉				け
俳	組	し	確	確	に	い	く	持	持	る	、	な	そ	そ	そ				る
句	み	て	固	固	は	る	な	つ	文	こ	と	す	七	七	七				切
に	ひ	い	た	た	、	と	の	芸	情	が	と	た	文	文	文				字
お	と	る	考	考	、	考	認	芸	報	が	し	め	字	字	字				の
い	と	と	文	芸	独	ら	知	芸	情	ば	し	に	構	構	構				役
て	つ	と	考	芸	自	れ	文	喚	報	ば	し	は	成	成	成				割
「	と	し	え	と	、	、	字	起	量	ば	し	極	さ	さ	さ				庄
切	し	て	ら	す	の	こ	情	さ	を	ば	し	小	れ	れ	れ				田
字	て	ら	れ	る	幾	れ	報	せ	超	で	あ	に	量	量	量				宏
」	一	れ	れ	た	つ	か	と	る	仕	あ	る	近	は	は	は				文
は	切	る	た	め	の	の	認	組	え	り	。	い	ま	ま	ま				
、	字	。	そ	に	仕	仕	み	、	、	こ	く	分	と	と	と				
俳	」	」	」	」	」	」	」	」	」	」	」	量	、	、	、				

の	す	か	述	句	か	述	い	か	つ	健	の	べ	な	論	「	の	句	
読	な	な	べ	意	な	べ	て	れ	い	吉	必	、	く	家	切	と	の	
者	わ	わ	す	の	ら	て	、	る	て	吉	要	、	て	が	字	し	成	立
側	ち	ち	る	理	し	い	、	め	は	は	性	、	く	が	」	て	の	段
の	、	、	仕	解	め	、	、	る	、	「	に	、	て	そ	に	し	し	階
認	併	併	組	、	る	、	、	字	、	」	つ	、	く	の	、	て	、	か
知	句	句	み	認	言	、	、	」	、	」	い	、	た	意	、	古	來	佛
に	に	に	で	識	の	、	、	」	、	」	効	、	し	義	、	よ	用	句
影	お	お	あ	識	言	、	、	」	、	」	用	、	ま	姿	、	り	が	に
響	け	け	る	を	換	、	、	」	、	」	用	、	た	に	、	多	重	欠
を	る	る	こ	堅	え	、	、	」	、	」	に	、	し	に	、	く	要	く
及	「	「	と	固	れ	、	、	」	、	」	に	、	ら	か	、	。	視	べ
ぼ	切	切	を	に	ば	、	、	」	、	」	重	、	し	で	、	。	芭	から
す	字	字	指	す	ば	、	、	」	、	」	要	、	め	、	、	。	蕉	ざ
た	一	一	摘	る	」	、	、	」	、	」	點	、	る	、	、	。	は	き
め	と	と	し	」	」	、	、	」	、	」	終	、	た	、	、	。	「	も
の	は	は	認	も	」	、	、	」	、	」	止	、	め	、	、	。	切	た
仕	、	、	知	の	」	、	、	」	、	」	符	、	め	、	、	。	入	た
組	併	併	認	手	」	、	、	」	、	」	」	、	」	、	、	。	、	さ
み	句	句	識	に	」	、	、	」	、	」	」	、	」	、	、	。	評	る
	句	句	に	て	」	、	、	」	、	」	」	、	」	、	、	。	」	も

法	に	そ	る	相	こ	う	の	な	め	に	着	る	認	全	れ	で
で	よ	れ	。	互	の	、	認	る	の	よ	目	。	知	に	ゆ	あ
あ	り	以	例	に	二	、	知	。	の	よ	す	。	構	理	え	る
る	各	外	え	関	つ	併	を	更	論	る	べ	俳	造	解	え	る
と	々	の	ば	連	の	句	引	に	考	る	き	句	に	す	に	こ
さ	の	二	、	形	式	き	、	、	で	併	き	に	対	す	に	と
れ	意	物	取	式	點	出	、	併	あ	り	論	点	す	る	と	を
て	味	を	り	に	に	す	、	句	り	、	論	が	認	た	め	指
い	を	配	合	つ	は	す	、	句	、	、	論	が	存	し	し	摘
る	超	合	わ	い	は	仕	、	、	、	、	、	が	在	に	て	し
。	え	合	わ	て	全	組	、	、	、	、	、	、	、	す	は	い
私	た	せ	せ	の	く	自	、	、	、	、	、	、	、	る	、	る
は	興	は	と	と	立	體	、	、	、	、	、	、	、	考	、	る
過	趣	一	し	の	立	有	、	、	、	、	、	、	、	え	、	と
去	を	般	し	考	し	新	、	、	、	、	、	、	、	考	、	も
の	生	的	た	え	た	最	、	、	、	、	、	、	、	え	、	言
論	み	に	も	る	も	構	、	、	、	、	、	、	、	考	、	え
文	出	は	の	べ	重	造	、	、	、	、	、	、	、	者	、	よ
に	す	は	季	き	要	造	、	、	、	、	、	、	、	考	、	う
お	手	の	衝	で	い	解	、	、	、	、	、	、	、	者	、	。
	擊	と	語	で	る	す	、	、	、	、	、	、	、	考	、	そ
		と	あ	く	。	と	、	、	、	、	、	、	、	え	、	

理	読	と	廣	香	字	こ	よ	は	げ	と	文	る	つ	思	工	い
的	者	な	い	「	情	と	り	、	た	し	に	認	い	直	ル	て
な	側	る	「	菊	報	で	論	代	。	し	お	知	い	接	・	、
因	取	。	の	の	か	、	理	表	例	て	い	シ	て	の	・	取
果	り	取	菊	香	ら	「	的	的	え	上	い	ス	、	接	カ	り
関	合	り	の	」	合	速	な	な	ば	五	て	テ	理	の	一	合
連	わ	合	世	」	理	い	文	取	、	の	、	ム	屈	的	ネ	合
の	ス	わ	界	」	的	思	節	り	、	「	、	の	に	な	マ	わ
な	テ	せ	世	」	に	考	の	合	、	や	、	存	と	因	ン	せ
い	ム	の	界	」	理	「	つ	合	、	」	、	在	ら	果	マ	の
二	を	俳	俳	」	解	に	な	わ	、	や	、	を	わ	関	ン	俳
物	活	句	認	」	し	よ	が	古	、	」	、	強	れ	係	提	句
に	用	用	知	」	し	う	り	き	、	や	、	調	な	が	唱	を
つ	す	す	知	」	う	る	り	仏	、	」	、	し	い	な	す	読
い	る	は	す	」	認	る	と	達	、	」	、	た	い	い	な	む
て	こ	、	る	」	知	が	が		、	」	、	(2)	関	二	あ	う
も	こ	と	こ	」	が	断	い		、	」	、	。	係	つ	る	え
、	と	と	と	」	切	う	、		、	」	、	。	を	の	の	で
そ	で	よ	が	た	切	あ	、		、	」	、	。	発	二	指	、
の	う	う	可	よ	切	る	、		、	」	、	。	見	つ	の	ダ
の	合	に	能	り	字	き	れ		、	」	、	。	で	の	事	二

に	的	描	の	字	2	か	け	か	に	思	本	る	う	し	認
俳	に	写	情	、	・	ら	る	に	考	稿	稿	え	え	、	知
句	理	し	報	單	「	考	重	つ	「	考	で	う	え	、	さ
は	解	て	量	語	速	察	要	い	の	」	は	え	え	で	れ
、	す	、	で	に	い	し	性	い	重	、	、	で	、	、	る
意	る	読	あ	書	思	し	に	て	要	、	ま	そ	そ	調	さ
味	こ	者	る	か	考	た	つ	論	性	切	ず	し	し	和	れ
の	と	の	。	れ	」	い	い	考	を	字	俳	な	う	の	世
あ	は	誰	こ	た	文	に	つ	を	」	性	句	要	に	一	界
る	不	も	の	か	字	よ	い	行	が	再	句	素	切	句	の
文	可	が	情	だ	情	る	、	読	、	考	を	に	字	切	中
字	能	同	報	か	報	俳	、	者	、	す	認	な	字	字	お
情	で	じ	量	三	情	句	、	に	「	読	知	つ	は	は	け
報	あ	事	で	語	報	と	、	お	切	者	す	て	佛	佛	る
と	る	象	は	か	と	し	、	け	字	の	る	い	句	句	つ
し	。	と	物	四	か	は	、	る	「	役	う	る	と	を	な
て	こ	し	事	語	ら	、	、	認	字	割	。.	う	成	立	が
は	の	し	を	十	四	、	、	知	」	を	、	と	き	き	り
不	よ	合	十	程	七	、	、	認	の	担	で	い	成	立	が
完	う	理	分	度	文	、	、	知	佛	つ	、	え	き	き	り

言	判	報	思	づ	い	り	い	思	づ	思	ン	思	組	う	こ	て	め	全
い	断	に	考	い	た	、	ト	考	い	考	ら	考	み	。	と	、	、	な
換	を	乏	一	判	た	、	に	考	、	シ	は	シ	で	で	と	佛	も	
え	下	し	の	断	断	ト	お	考	、	ス	、	ス	喚	。で	は	句	の	
る	す	い	特	を	が	お	い	考	、	テ	、	テ	起	は	、	読	も	
と	と	状	徵	次	作	い	い	考	、	ム	、	ム	さ	れ	で	者	の	
、	、	況	と	々	動	て	は	考	、	は	、	に	れ	て	、	に	も	
合	が	に	し	と	し	と	普	直	、	、	カ	つ	て	い	対	文	と	
理	可	お	て	、	て	下	段	觀	、	、	ス	の	、	、	す	字	は	
的	能	い	、	、	、	し	は	や	、	、	テ	シ	、	、	ば	情	と	
な	で	も	論	、	、	い	普	限	、	、	ム	、	、	、	、	報	れ	
判	あ	、	理	的	、	る	段	ら	、	、	、	、	、	、	、	超	れ	
断	る	、	的	な	、	。	の	れ	、	、	、	、	、	、	、	え	な	
を	点	直	判	判	、	。	生	た	、	、	、	、	、	、	、	た	い	
下	が	感	的	断	、	。	活	思	、	、	、	、	、	、	、	、	。	
す	挙	的	材	。	、	。	で	考	、	、	、	、	、	、	、	、	。	
に	げ	に	料	。	、	。	は	考	、	、	、	、	、	、	、	、	。	
は	ら	素	や	。	、	。	常	時	、	、	、	、	、	、	、	、	。	
十	れ	早	や	。	、	。	時	「	、	、	、	、	、	、	、	、	。	
分	る	く	情	。	、	。	「	に	、	、	、	、	、	、	、	、	。	

字	字	該	と	読	一	は	た	づ	意	常	「	つ	も	が	や	な
情	情	当	き	み	遅	、	め	い	と	時	遅	た	合	で	経	情
報	報	す	に	手	い	文	に	た	意	作	い	判	理	き	驗	報
に	量	る	働	が	の	芸	多	い	思	動	い	断	的	き	に	が
つ	が	で	く	意	思	考	く	た	の	し	思	を	的	き	に	が
い	少	あ	と	思	一	シ	対	、	も	考	考	導	で	き	よ	な
て	な	ろ	考	を	は	ス	の	十	と	に	に	く	は	り	り	い
論	い	う	え	集	情	テ	労	分	下	基	基	こ	な	だ	脳	場
理	文	。	ら	中	報	テ	力	な	す	づ	づ	と	い	し	が	合
的	芸	一	れ	報	量	ム	を	。	。	わ	い	が	た	速	補	で
な	で	方	る	を	が	認	を	。	こ	け	て	あ	め	い	う	も
つ	は	で	。	提	知	要	報	。	の	で	い	る	、	し	と	足
な	、	、	例	と	す	要	報	。	「	は	る	。	。	ば	り	り
が	そ	俳	え	取	す	と	收	、	遅	な	。	」	よ	し	考	な
り	の	句	ば	集	る	と	集	、	い	く	。	」	り	し	判	な
や	限	の	小	に	観	さ	に	加	思	く	。	」	論	ば	断	情
合	ら	よ	説	解	点	れ	。	え	的	、	。	」	論	は	は	報
理	れ	う	な	釈	點	て	。	、	な	、	。	」	理	、	を	を
的	た	な	ど	釈	に	。	。	、	熟	、	。	」	的	必	下	直
な	文	文	が	行	ま	。	。	、	慮	、	。	」	か	ず	し	觀

て	た	は	閑	上	置	い	螢	夜	て	知	思	よ	る	手	図	の	と	に	解
明	旬	、	連	五	か	れ	火	桜	石	さ	考	う	こ	の	的	よ	が	は	釈
示	で	春	は	と	れ	ず	や	や	田	れ	」	な	と	直	に	う	難	「	を
さ	あ	の	必	そ	れ	も	疾	や	波	う	に	手	感	感	読	な	し	遅	見
れ	る	夜	ず	そ	い	上	風	ら	郷	る	よ	法	や	經	み	文	い	い	出
た	。	に	し	以	る	五	の	わ	の	内	り	が	驗	手	手	字	こ	思	す
事	こ	本	も	下	ま	に	ご	か	二	容	、	行	に	の	「	情	考	考	こ
物	の	郷	確	の	た	一	と	き	句	に	俳	わ	よ	速	報	報	と	一	と
の	並	望	で	内	取	季	き	月	を	廣	が	れ	り	い	少	思	想	に	が
並	び	ん	は	容	り	語	母	本	挙	が	文	て	世	情	な	少	さ	り	難
の	の	だ	な	に	合	季	の	郷	げ	字	が	る	界	報	な	い	れ	合	し
の	者	は	な	は	わ	語	母	本	た	情	文	い	を	を	い	い	る	理	。
ベ	、	一	い	は	せ	母	の	郷	い	報	字	こ	生	喚	を	い	文	的	。
ン	キ	風	。	は	せ	の	脈	に	。	情	報	じ	じ	を	起	い	芸	に	の
キ	絵	景	。	は	切	切	脈	に	。	報	超	て	こ	こ	誘	い	の	認	。
的	的	を	。	は	字	字	脈	に	。	例	え	い	で	豊	導	い	芸	に	よ
な	情	切	。	は	俳	切	脈	に	。	と	て	る	豊	か	し	の	場	知	う
鑑	報	り	。	は	句	字	脈	に	。	と	て	い	か	に	、	合	す	す	な
賞	と	取	。	は	論	字	脈	に	。	し	と	す	に	保	、	句	る	る	場
し	し	つ	。	は	的	字	脈	に	。	認	い	る	す	管	、	意	こ	る	合

る	が	思	動	れ	内	読	あ	理	ず	き	明	に	こ	は	と	に	を	し	を	
と	、	考	を	る	に	者	る	解	れ	の	示	感	の	な	、	お	感	い	超	
い	俳	「	支	こ	補	の	こ	だ	よ	の	さ	じ	二	な	、	い	じ	季	え	
え	句	に	え	と	完	直	と	け	う	れ	さ	じ	つ	い	、	て	取	季	え	
よ	の	よ	て	が	さ	觀	が	で	な	の	れ	る	の	。一	、	は	じ	節	て	
う	文	り	い	、	れ	、	、	は	印	よ	さ	こ	事	方	、	て	る	へ	、	
。	芸	広	る	こ	れ	文	そ	至	象	う	れ	と	象	で	、	は	こ	の	春	
	と	範	。	ら	字	情	し	る	も	な	も	が	が	、	、	、	と	の	の	
	し	な	世	の	經	報	と	こ	「	「	、「	、	き	で	切	ま	と	夜	の	
	て	世	界	よ	驗	以	れ	と	遅	知	」	迫	感	た	、	た	」	の	生	命
	の	価	が	う	句	上	る	の	速	す	思	の	の	し	し	文	「	が	躍	力
	価	値	認	に	報	基	。	の	き	し	考	」	あ	て	い	火	に	明	動	に
	を	を	知	、	を	上	。	で	き	に	に	と	る	た	は	螢	に	滅	す	満
	高	さ	讀	読	の	情	に	き	速	い	思	と	が	文	は	火	は	し	ま	ち
	ら	れ	者	者	の	報	し	な	い	な	考	に	ある	字	た	論	の	て	た	た
	し	う	の	と	だ	情	た	い	い	思	認	よ	命	情	は	理	」	い	「	よ
	め	る	「	き	が	報	た	合	い	考	知	る	の	報	と	的	の	る	螢	う
	て	こ	速	の	が	唤	に	理	い	一	認	合	き	と	を	な	」	な	火	な
	い	い	感	感	さ	起	よ	的	な	情	知	理	ら	して	直	か	こ	心	持	や
																				新

し	を	を	な	遅	り	暗	る	限	で	補	い	と	の	「	要	に	は	以
た	補	使	い	い	状	闇	傾	ら	は	完	。一	と	特	速	で	は	一	上
ほ	完	つ	か	思	況	闇	向	れ	、	に	点	考	微	速	あ	は	速	よ
う	し	て	も	考	を	で	何	が	つ	つ	目	え	が	い	る	り	い	り
が	て	過	し	理	理	か	か	た	い	に	は	ら	、	思	考	考	考	、
望	、	去	れ	解	解	が	が	經	て	で	、	れ	、	考	考	考	考	、
ま	即	の	な	よ	よ	ソ	こ	驗	あ	文	、	る	に	に	に	考	考	考
し	座	経	い	り	合	ソ	と	に	動	字	、	、	對	定	想	考	考	考
い	に	驗	。	合	理	つ	が	よ	的	情	、	、	す	さ	が	が	が	が
か	逃	よ	そ	理	的	か	知	り	足	報	、	、	る	さ	れ	り	芸	芸
も	げ	り	の	的	突	と	ら	補	り	速	、	、	、	れ	た	と	と	と
し	る	瞬	場	突	突	動	れ	完	な	い	思	考	考	れ	れ	し	し	し
れ	な	時	合	突	き	ら	れ	し	な	い	超	考	考	れ	れ	し	し	し
な	ど	判	合	突	き	れ	て	理	い	え	三	考	考	れ	れ	し	し	し
い	の	斷	、	突	止	た	て	情	情	た	点	の	の	れ	れ	し	し	し
。	行	を	、	突	止	と	い	報	報	た	ほ	も	も	れ	れ	し	し	し
「	動	す	「	突	め	き	る	解	解	認	ど	関	関	れ	れ	し	し	し
速	を	る	速	突	め	た	に	し	し	た	ど	与	与	れ	れ	し	し	し
い	起	余	い	突	す	う	、	よ	、	シ	整	理	理	れ	れ	し	し	し
思	こ	裕	思	突	す	え	、	う	、	ス	理	と	理	れ	れ	し	し	し
		は	考	突	す	で	、	と	、	テ	と	俳	句	れ	れ	し	し	し
			」	突	す	く	、	や	、	ム	よ	、	い	く	れ	れ	し	し
				突	す	く	、	す	、		た	し	い	く	れ	れ	し	し

冴	ム	一	一	い	の	も	手	一	た	読	向	を	速	に	す	考
え	に	速	や	て	句	密	の	速	し	者	が	補	で	ば	一	考
と	よ	い	思	の	天	接	こ	速	て	が	あ	完	働	速	ば	は
し	り	思	考	詳	狼	に	認	い	い	が	る	す	き	速	や	未
た	補	考	「	細	ア	関	知	思	い	が	る	す	き	速	く	知
情	完	」	へ	な	イ	与	に	考	い	が	る	す	き	速	く	の
景	さ	誘	誘	記	ン	後	喚	「	可	能	性	す	き	速	く	情
を	れ	導	導	述	シ	述	起	に	能	性	性	す	き	速	く	報
認	た	字	字	は	シ	す	さ	よ	が	す	る	す	き	速	く	が
知	シ	さ	さ	は	タ	わ	せ	超	が	す	る	す	き	速	く	が
す	リ	れ	が	省	ユ	な	せ	え	が	す	る	す	き	速	く	な
る	ウ	、	入	略	ュ	ち	る	た	が	す	る	す	き	速	く	い
こ	ス	読	る	さ	タ	イ	。例	情	う	す	る	す	き	速	く	状
と	の	者	こ	れ	シ	ン	。例	報	。	す	る	す	き	速	く	況
が	輝	の	と	て	シ	の	と	報	。	す	る	す	き	速	く	に
で	く	認	で	い	リ	世	し	に	。	す	る	す	き	速	く	お
き	冬	知	、	る	ウ	紀	よ	に	。	す	る	す	き	速	く	い
る	の	シ	、	。	ス	果	る	期	。	す	る	す	き	速	く	の
。	冴	ス	読	。	自	つ	有	待	。	す	る	す	き	速	く	も
こ	え	テ	者	。	体	。	馬	省	。	す	る	す	き	速	く	、
こ	え	テ	は	で	に	。	朗	略	。	も	る	す	き	速	く	、
こ	え	テ	は	で	つ	。	入	待	。	も	る	す	き	速	く	、
こ	え	テ	は	で	つ	。	人	。	。	と	み	す	き	速	く	、

		傾	向	も	俳	句	あ	る	で	可	足	て	つ	係	星	果	論		を	と	文	の			
三	点	を	活	用	に	お	こ	の	本	能	し	い	い	は	座	関	理		読	が	字	よ			
目	は	活	用	似	け	け	疑	の	来	で	し	い	る	な	の	係	的	に	者	で	情	う			
は	、	使	て	似	る	一	感	に	は	可	し	て	、	な	運	関	理	に	に	き	報	に			
、	個	て	似	的	取	り	じ	に	何	能	し	い	、	が	行	係	的	は	認	、	超	「			
個	人	い	似	的	関	合	る	感	ら	で	あ	い	速	見	と	運	果	理	知	せ	え	速	い		
人	を	い	似	的	関	合	こ	じ	関	能	る	い	い	た	個	関	果	理	せ	し	た	思	思		
を	超	と	似	的	関	合	そ	じ	性	で	も	思	見	た	人	関	果	理	め	し	た	考	考		
超	え	と	似	的	関	合	そ	じ	性	も	も	考	出	と	の	関	果	理	め	し	た	考	考		
え	て	と	似	的	関	合	そ	じ	性	素	も	考	し	と	の	関	果	理	め	し	た	考	考		
て	共	と	似	的	関	合	そ	じ	性	早	も	考	た	す	と	命	関	果	理	め	し	た	考	考	
共	有	と	似	的	関	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	運	関	果	理	め	し	た	考	考	
有	、	共	と	似	的	関	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	関	果	理	め	し	た	考	考
、	收	と	似	的	關	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	關	果	理	め	し	た	考	考	
收	斂	と	似	的	關	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	關	果	理	め	し	た	考	考	
斂	さ	と	似	的	關	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	關	果	理	め	し	た	考	考	
さ	れ	と	似	的	關	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	關	果	理	め	し	た	考	考	
れ		と	似	的	關	合	そ	じ	性	早	い	考	が	し	と	命	關	果	理	め	し	た	考	考	

経	前	き	と	経	者	共	る	い	け	そ	超	知	深	て	を	超	て	る
験	提	起	も	験	も	通	特	る	る	の	え	と	い	は	は	え	い	認
を	と	こ	季	を	読	の	微	通	寄	と	て	し	い	共	共	え	い	知
判	な	さ	語	持	者	知	的	の	せ	が	共	と	の	通	通	て	い	傾
断	つ	れ	に	つ	も	識	な	特	等	と	通	し	い	文	文	え	い	向
材	て	る	関	て	同	意	意	微	を	が	通	と	の	字	字	て	、	傾
料	い	こ	し	お	様	義	義	的	媒	と	經	し	い	理	理	一	、	向
と	る	と	て	り	の	存	、	代	介	げ	驗	て	情	解	解	定	、	向
す	。	が	は	、	自	在	、	表	と	ら	の	、	報	さ	さ	の	、	向
る	「	、	読	、	然	す	、	的	し	れ	か	、	報	さ	れ	て	は	て
た	速	俳	者	の	や	る	、	表	て	る	な	と	を	う	う	明	、	ある
め	い	句	問	こ	人	。	、	的	そ	。	り	つ	た	超	る	示	、	。
、	思	を	に	と	事	ま	、	表	の	特	の	に	内	え	も	さ	、	破綻
ト	考	鑑	共	に	に	た	、	的	意	に	部	は	容	て	の	れ	た	な
レ	」	賞	通	よ	触	実	、	表	味	季	分	佛	、	、	で	あ	内	く
一	は	す	の	り	れ	際	、	的	や	語	は	句	い	個	あ	た	人	成
二	、	る	認	、	共	等	、	表	俳	に	共	の	て	々	る	が	間	立
ン	過	上	知	、	句	に	、	的	句	に	有	は	も	の	が	れ	の	。
グ	去	で	が	少	通	に	、	表	俳	に	さ	れ	、	読	、	れ	差	。
に	の	の	引	な	の	の	、	的	句	お	は	る	。	者	の	つ	の	し
			く		の	の	、	表	け	て	お	。	を	興	、	つ	の	。

字	る	3	・	つ	い	い	に	し	知	読	以	行	の	れ	佛	度	そ	反	よ
「	役	俳	句	・	て	る	よ	て	す	者	以	つ	差	た	人	な	し	復	り
の	割	句	俳	次	そ	・	る	俳	る	が	上	て	異	た	は	判	て	作	り
効	に	に	句	章	の	そ	認	句	う	文	の	い	を	速	季	断	し	業	精
用	つ	お	認	知	有	の	知	形	え	字	よ	超	い	思	語	が	熟	業	密
に	い	け	知	け	力	へ	誘	式	で	情	う	え	思	考	に	練	な	な	化
つ	て	る	に	お	考	考	導	に	重	報	こ	考	考	」	に	に	ど	可	す
い	考	切	に	け	察	察	な	は	要	を	と	が	」	に	能	は	、	能	る
て	察	切	け	る	を	も	な	、	役	超	が	想	収	に	と	り	一	速	こ
過	す	字	一	進	の	の	の	俳	た	え	定	め	斂	よ	接	す	い	仕	と
去	る	切	一	め	が	が	た	句	た	た	さ	」	」	り	す	と	思	組	が
の	に	切	一	め	た	・	め	の	役	内	速	思	め	、	と	が	考	み	可
指	あ	讀	切	た	い	切	め	の	割	容	い	考	め	季	接	す	考	」	能
摘	た	者	字	た	・	字	の	構	果	た	定	思	め	語	す	る	」	考	で
を	り	の	の	た	・	・	・	造	た	内	さ	考	め	に	と	が	」	行	あ
挙	ま	認	役	の	・	・	・	者	し	容	り	れ	め	、	と	が	」	わ	る
げ	ず	知	割	・	・	・	・	を	い	と	た	る	め	、	と	れ	」	れ	。
て	・	与	え	・	・	・	・	・	・	し	し	・	め	と	し	て	て	て	熟
再	切	え	え	・	・	・	・	考	・	し	し	・	め	・	・	・	て	て	練

共	い	ら	の	作	の	き	字	略	る	の	読	思	る	し	の	三	(エ)	の	考
感	て	捉	効	用	か	る	「	」	と	詠	い	が	と	て	三	点	。す	効	し
す	は	え	果	が	た	と	に	に	さ	嘆	き	が	き	い	点	で	な	用	した
る	、	な	に	あ	ち	さ	よ	つ	れ	の	に	一	と	い	の	あ	わ	に	い。
こ	「	お	関	ある	を	整	り	て	て	氣	分	切	字	と	三	点	あ	り、	た。
と	切	し	す	さ	と	え	品	は	い	に	に	も	「	」	の	の	わ	い	藤
が	字	て	る	れ	、	、	の	、	る	強	く	切	集	に	三	点	ち	て、	田
で	」	み	指	て	句	の	後	は	。必	ま	共	約	持	と	の	の	か	以	湘
き	に	た	摘	い	の	「	第	ろ	要	た	字	さ	ち	は	立	詠	詠	下	子
る	よ	い	を	。	」	格	三	に	以	第	感	れ	、	、	字	嘆	嘆	の	は、
点	り	。	、	ま	。	調	の	伏	外	二	す	が	て	、	」	」	省	著	著書
を	作	ま	読	者	。	効	の	せ	の	の	る	ある	い	、	と	詠	略	書	の
指	者	す	者	の	。	果	効	せ	者	効	こと	ある	、	、	立	」	省	中	中
摘	の	、「	認	の	。	と	と	と	は	果	と	こと	る	、	字	」	略	で	で
し	感	動	知	の	。	高	効	し	く	の	が	と	。	、	」	」	」	格	「
て	に	詠	の	観	。	ら	果	と	、	者	能	で	一	と	立	詠	詠	調	切
い	る	嘆	の	點	。	し	と	し	、	は	と	で	方	、	字	」	」	」	字
が	讀	」	に	点	。	字	韻	、	と	が	能	、	で	、	」	」	」	」	」
、	者	は	に	點	。	め	文	で	が	「	と	作	、	、	」	」	」	」	」
					」	文	で	切	」	な	者	、	、	、	」	」	」	」	」

色	思	と	を	け	の	ら	の	認	葉	き	ら	一	動	も	に	の	れ	こ
濃	考	一	味	読	句	で	情	知	を	る	ず	方	を	「	詳	の	る	れ
く	一	切	わ	ん	で	は	景	が	手	、	、	、	理	遅	細	よ	に	れ
含	へ	字	う	で	、	、	や	喚	掛	、	、	、	解	い	に	う	る	に
ん	と	一	こ	も	、	、	感	起	か	、	、	、	し	思	述	に	知	は
だ	強	が	と	、	今	も	動	さ	り	、	、	、	、	考	べ	作	が	速
ハ	く	置	難	読	も	沖	沖	れ	と	、	、	、	、	」	べ	者	関	い
マ	誘	か	し	者	に	に	ば	認	し	、	、	、	、	」	る	の	与	思
ナ	導	れ	い	が	沖	は	、	知	て	、	、	、	、	」	」	感	し	考
ス	さ	る	。	作	に	未	中	す	、	、	、	、	、	」	」	動	い	の
の	れ	こ	。	者	は	来	村	る	、	、	、	、	、	」	」	覚	つ	個
咲	る	と	こ	と	未	未	草	こ	、	、	、	、	、	」	」	え	い	人
く	。	で	こ	共	来	来	田	と	、	、	、	、	、	」	」	る	て	考
海	そ	、	で	通	あ	あり	男	が	、	、	、	、	、	」	」	か	合	え
辺	し	読	者	の	、	、	の	可	、	、	、	、	、	」	」	な	理	ら
の	て	者	一	感	の	能	男	能	、	、	、	、	、	」	」	か	的	れ
風	、	は	玫	動	、	と	の	と	、	、	、	、	、	」	」	言	に	由
景	郷	一	瑰	や	部	な	分	な	、	、	、	、	、	」	」	葉	は	と
が	愁	速	や	詠	分	る	か	共	、	、	、	、	、	」	」	に	、	散
、	を	い	」	嘆	だ	か	通	言	、	、	、	、	、	」	」	感	と	文

と	述	て	も	あ	作	し	を	五	と	例	た	最	能	者	に	に	次	作	郷	は	一	今	読	
べ	べ	そ	れ	一	一	な	た	月	し	え	と	後	と	は	よ	よ	者	愁	じ	今	も	沖	者	
て	い	れ	を	な	に	に	場	雨	し	ば	き	に	な	文	り	る	の	の	と	愁	じ	も	に	の
い	る	(エ)	を	が	が	が	合	や	て	、	の	、	る	字	速	よ	に	者	と	今	め	、	読	者
。	。	。	句	し	か	か	の	渡	、	藤	田	、	る	情	知	る	に	の	の	と	の	て	、	は
す	な	す	い	の	か	か	に	辺	、	湘	文	、	は	報	の	「	に	の	の	と	の	は	、	未
な	わ	な	う	の	意	か	つ	浸	、	子	の	、	前	以	速	「	に	の	の	と	の	は	、	来
わ	ち	わ	に	味	味	に	つ	水	、	巴	必	、	段	上	い	速	省	略	略	と	の	と	、	ア
ち	、	、	は	に	て	、	つ	巴	、	是	要	、	で	思	考	い	」	」	」	が	の	と	、	リ
、	一	一	は	は	通	か	い	山	、	韻	性	、	論	考	が	考	共	感	興	を	は	と	、	ト
切	切	切	は	は	後	か	い	山	、	文	に	、	で	誘	導	が	感	有	興	を	は	と	、	リ
字	字	字	ば	ば	者	ら	た	湖	、	文	に	、	い	考	導	さ	す	す	す	を	は	と	、	ト
」	」	」	か	か	は	れ	た	湖	、	は	に	、	て	は	導	れ	す	す	す	す	は	と	、	リ
の	の	の	ら	ら	散	れ	と	湖	、	、	、	、	、	、	、	導	れ	す	す	す	す	は	と	、
な	な	な	れ	れ	文	れ	と	」	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
い	い	い	る	る	的	る	し	改	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

最	感	喚	誘	導	そ	印	い	ち	に	「	速	い	者	に	広	字	さ	に	句
後	動	起	導	さ	し	で	思	、	よ	切	い	思	を	よ	が	情	れ	よ	は
に	を	さ	さ	れ	て	あ	考	俳	る	字	い	考	を	よ	り	報	て	り	散
、	覚	れ	さ	れ	、	り	」	句	認	」	思	」	遅	よ	が	の	し	め	文
山	え	た	た	た	切	、	強	に	知	が	考	へ	韻	よ	り	報	ま	り	的
本	る	こ	読	者	字	力	な	お	へ	あ	」	誘	文	と	を	の	い	論	的
健	こ	と	者	は	」	な	認	け	と	よ	」	導	と	し	欠	範	、	に	に
吉	と	で	、	、	に	装	知	く	よ	う	す	す	し	く	く	開	ま	と	理
は	が	、	文	字	よ	置	へ	誘	と	に	た	へ	の	こ	と	に	、	ど	解
「	可	句	情	報	つ	で	強	字	と	、	め	た	か	に	ど	ま	、	ど	し
切	能	に	報	を	て	あ	く	導	は	切	め	め	た	ち	ま	る	こ	と	よ
字	と	対	を	超	「	る	と	さ	れ	字	に	必	た	さ	と	で	と	と	う
」	な	し	し	え	速	あ	も	と	た	」	接	要	め	を	保	の	で	併	と
に	る	て	て	た	い	く	い	は	は	」	に	で	確	つ	つ	よ	と	つ	す
つ	。	深	深	た	思	導	も	、	は	速	連	で	実	こ	に	う	に	方	、
い		い	え	た	考	す	い	読	た	い	が	あ	は	と	は	に	と	向	、
て		共	深	た	考	よ	い	者	た	る	連	用	る	考	、	に	と	乏	い
、		感	い	た	」	へ	め	を	め	」	が	は	と	は	、	に	し	し	誘
「		や	が	と	。	。	の	」	を	な	。	考	え	速	読	の	文	導	考

認	界	と	風	持	て	う	有	字	る	す	る	興	他	切	い	す	「	一	い
識	の	置	の	つ	の	感	す	」	修	る	。	は	の	る	と	す	切	句	る
の	実	い	發	深	考	嘆	る	と	辞	通	こ	、	助	、	い	る	字	に	点
在	在	て	、	い	察	詞	に	し	」	り	の	、「	詞	だ	と	目	切	に	つ
り	感	、	作	含	「	語	で	て	で	、	よ	や	で	け	う	印	字	重	い
場	を	、	者	蓄	の	成	あ	成	は	、	う	も	も	の	こ	、	は	み	に
所	を	、	は	を	な	立	る	立	な	、	に	よ	よ	的	と	、	読	を	み
を	冒	は	に	発	か	べ	き	す	い	、「	に	ど	は	な	は	が	、	考	み
冒	頭	つ	よ	見	で	る	た	る	こ	意	、「	ど	か	で	い	、	速	察	い
頭	確	き	つ	し	、	、	、	た	と	識	切	は	も	あ	れ	。	い	し	た
確	か	り	て	た	「	山	本	た	は	の	字	深	ま	し	ば	、	論	速	い
か	に	と	切	た	本	健	健	め	明	流	」	ま	ら	な	、	理	い	思	い
に	教	指	り	が	吉	吉	。	め	ら	れ	は	な	い	な	、	的	思	考	(二)
教	え	し	取	が	、	、	、	に	か	を	、「	い	い	が	、	な	、	「	。
え	る	す	ら	佛	い	、	、	、	で	中	山	本	状	、	、	、	の	へ	前
る	の	す	れ	諦	う	、	、	、	あ	絶	本	健	態	、	、	、	の	述	述
の	だ	、	た	、	、	、	、	、	り	、	吉	吉	に	、	、	、	、	の	の
だ	。	詩	客	感	、	、	、	、	、	、	が	、	と	、	、	、	、	と	と
。	人	的	觀	嘆	、	、	、	、	、	、	批	ど	感	、	、	、	、	誘	述
（	）	世	正	詞	、	、	、	、	、	、	判	ま	た	、	、	、	、	導	べ

の	考	え	に	経	は	と	空	世	換	に	認	の	妙	に	て	即	省
あ	「	て	と	驗	「	し	想	界	え	よ	知	流	な	よ	示	時	略
る	が	い	つ	的	速	て	界	は	る	た	へ	れ	ハ	つ	さ	的	」
認	働	る	て	な	い	捉	は	、	と	感	と	か	ー	て	さ	・	初
知	く	と	の	も	思	え	な	漠	、	嘆	誘	ら	モ	上	れ	・	五
世	こ	考	具	の	考	ら	く	然	「	詞	導	二	ニ	塗	た	定	に
界	と	え	体	に	」	れ	、	と	切	と	切	一	」	り	具	象	お
を	だ	ら	的	よ	に	る	、	し	字	し	り	を	」	さ	的	的	つ
展	け	れ	な	り	よ	。	在	憶	「	て	は	醸	醸	、	・	直	て
開	で	る	経	成	り	そ	感	測	を	与	な	し	し	出	細	感	示
で	き	。	験	立	り	の	憶	測	よ	え	し	字	す	の	叙	的	さ
き	る	と	が	導	し	か	測	測	よ	る	で	「	の	だ	的	把	れ
わ	常	は	認	立	か	理	測	測	つ	勤	な	速	二	重	反	握	た
け	に	い	知	し	れ	由	測	測	て	き	く	い	」	映	省	が	力
で	鮮	の	の	し	た	と	測	測	、	が	、	は	だ	し	さ	強	、
は	や	実	認	確	確	た	測	測	、	勤	、	、	と	の	と	い	七
な	か	在	知	固	固	た	測	測	た	き	、	速	述	の	述	、	五
い	で	感	世	定	定	た	測	測	ま	が	、	い	者	上	し	れ	に
。	深	、	界	ひ	ひ	と	測	測	、	勤	、	性	を	に	べ	た	大
み	速	、	は	た	た	る	測	測	、	き	、	に	論	に	て	把	胆
思	い	め	は	も	も	た	測	測	た	が	、	思	理	に	い	握	な
支	を	、	は	な	も	な	測	測	た	勤	、	文	」	に	よ	よ	つ
読	読	、	に	い	い	の	測	測	た	き	、	性	」	に	よ	よ	つ
者	者	、	に	い	い	の	測	測	た	が	、	思	論	に	よ	よ	つ

け	揮	の	く	る	で	き	体	き	を	の	先	出	を	い	と	て	感	化	一
る	で	あ	の	こ	き	と	の	き	伴	い	に	し	強	う	に	の	を	さ	速
「	き	る	情	と	よ	で	喚	か	つ	す	拳	、	く	る	対	の	強	せ	い
切	世	報	情	と	う	、	起	を	て	れ	げ	、	激	。)	す	強	さ	せ	思
字	界	報	報	で	。	、	力	比	五	が	た	实	し	そ	る	め	さ	て	考
」	を	報	報	を	「	「	の	較	月	よ	水	在	く	の	強	は	め	る	認
の	を	報	報	完	や	や	強	し	雨	り	巴	感	働	い	い	な	に	知	知
役	は	報	報	す	」	」	さ	て	に	強	の	を	か	感	い	い	い	界	世
割	つ	思	考	す	、	と	、	強	ま	く	「	支	せ	嘆	意	し	は	界	の
と	き	考	考	る	激	い	激	さ	つ	、	五	え	、	詞	思	は	作	解	解
は	り	考	考	こ	し	う	し	し	わ	ま	月	る	よ	嘆	を	者	の	像	像
、	と	認	認	と	激	「	激	さ	る	た	雨	や	り	詞	要	の	度	度	起
「	上	知	知	と	し	」	切	さ	世	よ	「	」	多	多	読	す	」	高	さ
速	よ	知	知	で	し	う	字	を	界	よ	五	月	く	く	者	る	め	め	れ
い	り	さ	さ	、	理	「	切	理	を	や	月	雨	が	の	の	特	の	情	情
思	佛	さ	さ	読	解	」	字	解	深	と	雨	や	き	感	強	に	も	報	報
考	句	せ	せ	み	す	と	」	す	く	と	「	」	る	興	さ	が	の	量	量
」	認	作	作	手	で	強	」	る	く	と	五	月	力	を	備	「	の	語	を
へ	知	用	用	に	で	く	切	い	の	認	月	雨	が	引	わ	や	の	と	実
の	に	知	用	在	き	よ	切	う	く	と	五	月	あ	き	つ	」	し	在	最
お	お	發	感	多	れ	り	語	が	自	量	月	雨	る	考	て	こ	し	在	大

本	れ	漫	は	去	ひ	一	つ	か	あ	一	在	か	強	さ	き	さ	強
稿	る	然	強	來	ぎ	切	い	結	る	句	感	せ	強	が	れ	れ	力
で	こ	と	力	抄	る	字	て	語	と	句	を	、	さ	あ	た	た	な
は	と	置	な)	時	に	論	と	と	に	も	、	を	る	認	た	誘
、	は	く	機	。	は	用	考	展	ま	お	も	た	基	が	た	認	導
読	な	だ	能	。	の	ふ	し	望	と	い	め	ら	に	あ	る	知	作
者	い	け	を	。	こ	る	た	。	め	い	め	す	し	が	が	の	用
に	と	で	持	。	と	。	「	と	ら	た	も	た	し	た	。	の	に
お	い	は	つ	た	は	切	思	」	れ	め	を	ら	、	よ	、	、	よ
け	う	そ	た	装	、	字	考	」	る	思	ら	す	り	、	、	、	る
る	こ	の	裝	置	佛	な	」	」	。	考	。	こ	度	強	、	感	文
認	と	機	置	で	句	し	「	」	。	」	。	と	の	く	、	動	字
知	を	能	で	は	お	一	字	」	。	」	。	が	高	」	、	の	情
を	示	が	は	い	い	切	に	」	。	」	。	、	い	速	、	、	報
中	唆	十	あ	い	と	皆	よ	キ	。	」	。	、	い	く	、	、	を
心	し	全	る	て	述	つ	り	し	。	」	。	、	、	き	、	、	超
に	て	に	が	一	べ	い	導	ワ	。	」	。	、	、	る	、	、	え
論	い	發	、	切	字	芭	か	ド	。	」	。	、	、	、	、	、	て
考	る	揮	た	字	。	蕉	れ	ト	。	」	。	、	、	、	、	、	補
を	。	さ	だ	「	。	は	認	シ	。	」	。	、	、	、	、	、	完

こ	る	ム	Λ	用	関	た	知	と	る	と	に	こ	か	誘	い	せ	進	
と	可	を	I	可	し	い	に	で	こ	以	発	こ	、	か	か	ば	め	
で	能	介	は	能	て	。	関	あ	と	上	揮	の	と	導	に	、	た	
、	性	し	イ	性	、	最	す	り	は	の	し	と	い	す	強	、	が	
言	が	て	ン	に	本	後	る	、	、	よ	、	な	な	る	く	作	、	
語	高	学	ブ	つ	稿	に	論	考	よ	に	、	う	う	觀	く	句	句	
生	い	習	ツ	い	の	、	、	や	り	、	、	い	い	点	く	に	作	
成	へ	し	ト	て	議	昨	研	も	よ	、	、	、	。	を	で	お	者	
を	関	、	さ	簡	論	の	究	も	い	俳	重	一	、	が	、	い	の	
行	連	あ	れ	單	論	今	研	も	い	句	み	、	切	意	感	て	側	
う	が	る	た	に	踏	の	究	が	い	の	を	切	字	識	動	、	か	
こ	強	言	情	述	ま	言	語	が	と	の	も	字	「	求	や	文	ら	
と	い	葉	報	べ	ま	語	生	深	し	認	た	」	は	め	共	字	字	論
が	~	に	を	た	え	生	成	ま	て	知	ら	そ	切	感	報	情	者	
可	言	対	、	い	つ	成	A	る	俳	に	す	の	字	れ	を	「	の	
能	葉	し	ア	。	つ	C	I	こ	句	に	こ	機	「	れ	超	速	か	
で	を	し	ル	。	佛	I	の	と	に	も	と	能	字	る	え	い	ら	
あ	並	て	ゴ	言	句	勃	を	を	対	い	す	」	」	を	た	思	論	
る	べ	次	リ	語	ヘ	興	期	を	す	て	こ	能	を	用	せ	考	考	
。	る	に	ズ	生	の	待	待	し	る	理	が	可	十	い	し	た	え	
		来		成	応	に	認	し	認	解	能	全	る	い	め	た	な	

う	に	性	お	は	進	よ	に	を	し	づ	も	C	学	合	タ	ひ	自	て	一
。	つ	と	け	な	歩	う	よ	ア	た	い	の	h	習	め	が	と	動	し	方
	い	、	る	い	速	。	る	ル	よ	て	で	a	し	た	基	つ	生	て	で
	て	そ	シ	よ	度	そ	作	ゴ	う	い	あ	t	し	日	本	に	成	し	、
	も	の	ン	う	を	し	句	リ	な	な	り、	G	い	本	的	は	成	も	現
	真	段	ギ	に	鑑	能	能	ズ	「	い	、	P	な	文	に	、	創	に	行
	劍	階	ユ	思	み	そ	力	ム	切	こ	佛	T	い	化	は	、	性	至	の
	に	に	ラ	わ	る	れ	が	化	字	と	句	の	可	や	英	h	性	つ	C
	議	お	リ	れ	に	、	向	す	「	が	能	言	能	俳	語	a	芸	て	、
	論	け	テ	る	、	そ	上	る	に	考	性	語	性	句	圈	t	術	い	h
	す	る	イ	。	近	現	す	こ	よ	え	が	理	性	の	の	G	性	な	a
	る	俳	।	。	い	状	す	こ	と	ら	お	解	が	関	も	P	の	い	t
	こ	句	—	。	将	の	る	ま	よ	れ	け	考	考	す	の	T	高	。	G
	と	、	俳	—	に	言	る	で	と	ら	る	は	え	る	で	の	い	。	P
	が	俳	到	、	将	能	可	、	佛	れ	認	、	ら	ら	十	の	良	。	T
	必	人	達	、	来	性	能	、	句	る	知	論	は	分	分	原	質	4	4
	要	の	達	、	、	語	性	、	認	。	の	理	、	な	な	因	な	・	・
	で	在	る	、	俳	生	も	、	本	。	仕	論	、	情	古	の	俳	、	0
	あ	り	可	、	句	成	考	、	稿	。	組	理	、	報	典	デ	句	し	。
	ろ	方	能	、	で	な	成	、	で	組	に	基	、	を	ー	ー	の	の	。
						こ	成	A	成	、	論	、	た						つ
						I	さ	A	組	基	考	、							

参考文献

1. 山本健吉「俳句とはなにか」「挨拶と滑稽」
角川文庫(2000) p21.
2. 庄田宏文「俳句における取り合わせと意味」
ネットワーク「俳入協会第10回新鋭評論賞」
(2023)
3. ダニエル・カーネマン「フアーメント&スロウ」
口一早川書房(2011) p39-59. (原著 Daniel Kahneman. Thinking, Fast and Slow.)
4. 藤田湘子「二十週俳句入門」「切字の効果」
角川文庫(2011) p83-95.
5. 山本健吉「俳句とはなにか」「や」について
の考察」角川文庫(2000) p108.